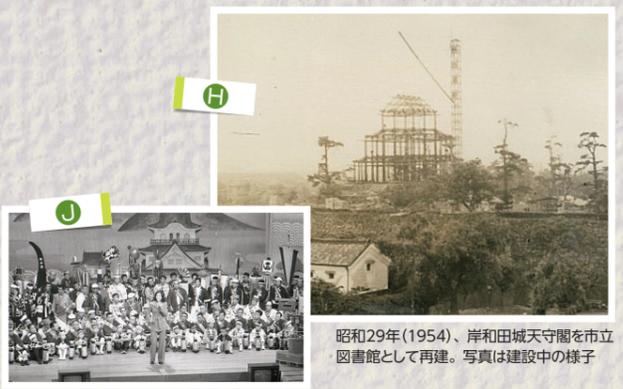


100年のあゆみ

1922-2022 岸和田市

市制施行から現在に至るまで、その100年のおもな歴史を写真と年表で振り返ります。



昭和29年(1954)、岸和田城天守閣を市立図書館として再建。写真は建設中の様子



昭和47年(1972)12月、NHK「ふるさとの歌まつり」公開収録。岸和田だんじり祭が紹介され、全国的に有名に



昭和25年(1950)、岸和田競輪場が完成。第1回岸和田市営競輪が開催される



写真右側が昭和29年(1954)に開庁した市役所庁舎(現旧館)。左側は昭和46年(1971)に完成した新館



昭和16年(1941)から昭和28年(1953)に使用された市役所庁舎



昭和17年(1942)頃の春木競馬場



昭和28年(1953)に3日間にわたり開催された「第1回港まつり」の様子。花火大会や巡視船での体験航海などがさまざまなイベントが行われた

終戦復興から第二次産業の発展へ

昭和21年(1946)～昭和47年(1972)

戦後、まちも徐々に復興を遂げ、昭和39年(1964)には東京オリンピックの聖火が岸和田市を通過。人口が増加し、子育て制度も見直され始めます。高度成長期を迎え、臨海工業地帯の造成など第二次産業の分野が大幅に発展。昭和47年(1972)には市制施行50周年を迎えました。



大正時代完成当時の岸和田市公会堂



大正12年(1923)に開催された市制記念博覧会の様子

岸和田市誕生 まちづくりのはじまり

大正11年(1922)～昭和20年(1945)

大正11年(1922)に岸和田市が誕生。その後、大正から昭和にかけて、議会制度の確立、基本的な公的施設や道路、鉄道・バス路線などの整備が進められ、市政の基盤が作られました。しかし、昭和20年(1945)には岸和田市も空襲に遭い、沿岸部などが被災しました。



昭和39年(1964)、上町付近を通過する東京五輪の聖火リレー。道沿に多くの人たちが詰めかけた

西暦	和暦	月	岸和田市のおもなできごと	社会のおもなできごと
1922	大正11年	11月	岸和田町が町制を廃し市制を施行。市制施行は全国で87番目、府内では大阪市、堺市に次いで3番目。人口3万673人、世帯数6816世帯。面積4232km ²	未成年者飲酒禁止法公布
1923	大正12年	1月	第1回目の岸和田市議会議員選挙を実施。岸和田市最初の市会開催。	関東大震災
1924	大正13年	5月	岸和田市章を定める。	阪神甲子園球場が起工
1927	昭和2年	8月	第2回市議会議員選挙(関西最初の普通選挙)実施。春木競馬場建設(翌年、競馬初開催)。	金蔵恐慌
1928	昭和3年	7月	南海鉄道が和泉自動車株式会社を買収し、南海バスを運行。	第16回衆議院総選挙で初の普通選挙を実施
1930	昭和5年	5月	井阪豊光が市長就任(3・4代)。	
1934	昭和9年	9月	岸和田駅前大通り開通。久米田駅・土生郷駅(現東岸和田駅)開業。岸和田城本丸・二の丸跡などを千亀利公園として整備。	昭和恐慌
1938	昭和13年	3月	川崎正一が市長就任(5代)。	日本が国際連盟脱退
1939	昭和14年	7月	室戸台風により岸和田市内でも、1495戸の家屋と6095人が被災。	室戸台風
1940	昭和15年	4月	竹崎米吉が市長就任(6代)。	盧溝橋事件
1941	昭和16年	3月	土生郷村を岸和田市に編入。	国家総動員法公布
1942	昭和17年	4月	寺田利吉が市長就任(7代)。	日独伊三国同盟
1943	昭和18年	9月	東葛城村・有真香村を岸和田市に編入。	真珠湾攻撃
1944	昭和19年	6月	市役所庁舎を国道16号(左記)建設のため取り壊し、市役所は岸城町の旧泉南郡役所跡に移る。国道16号(今の国道26号、現府道204号)堺阪南線(開通)。	関門鉄道トンネル開業
1946	昭和21年	5月	岸和田市、春木町、山直町、南掃守村が対等合併し、岸和田市に。寺田基吉が市長就任(8代)。	学徒出陣
1947	昭和22年	4月	福本太郎が市長就任(9代・13・15代)。	日本国憲法公布
1948	昭和23年	2月	岸和田商工会議所設立。	北海道大地震
1949	昭和24年	6月	岸和田市消防本部(現)誕生。山滝村を岸和田市に編入合併。岸和田市教育委員会発足。	教育基本法・学校教育法公布
1950	昭和25年	2月	広報紙「きわだの友」発刊。	地方自治法公布/日本国憲法施行
1951	昭和26年	2月	岸和田競輪場完成。	湯川秀樹が日大初のノーベル賞受賞物理学賞
1953	昭和28年	8月	第1回港まつり開催。	サンフランシスコ平和条約締結
1954	昭和29年	11月	岸和田城本丸に八陣の庭(重森三玲設計)が完成。新岸和田市庁舎(現市役所旧館)開庁。岸和田城天守閣、市立図書館として再建。	NHKテレビ本放送開始
1956	昭和31年	5月	岸和田市が財政再建団体となる(昭和38年財政再建完了)。	日本初の缶ジュース発売
1961	昭和36年	2月	臨海工業用地造成工事着工。	通天閣が再建
1964	昭和39年	7月	岸和田駅前通商店街にアーケード設置。岸和田市内で東京オリンピック聖火リレー。	第二室戸台風
1966	昭和41年	8月	臨海工業用地造成事業竣工。	東海道新幹線開業
1967	昭和42年	7月	岸和田市貝塚市清掃施設組合設立。木材コンビナート完成。	東京オリンピック・国際身体障害者スポーツ大会開催
1968	昭和43年	10月	阪南港開港。	ヒートルズ来日
1971	昭和46年	2月	市制施行45周年を記念し、公募で市の木がクスノキに決定。	日本で郵便番号導入
1972	昭和47年	11月	市役所新館完成。岸和田市立斎場開場。	NHK総合テレビで全番組カラー化
			市制施行50周年。岸和田市民会館でNHK「ふるさとの歌まつり」公開収録。	札幌冬季オリンピック開催



平成27年(2015)、久米田池が世界かんがい施設遺産に登録される。周遊歩道は市民の憩いの場に



平成23年(2011)、岸和田競輪場にサイクルピア岸和田BMXコース・クラブハウスを新設



平成12年(2000)より運行を開始した地域巡回ローパスは現在も市民の足に



平成5年(1993)、だんじりの歴史を学べる岸和田だんじり会館が開館



昭和54年(1979)開通当時の国道26号



昭和48年(1973)頃の泉州卸商業団地と国鉄東岸和田駅

岸和田市の名誉市民・市民荣誉賞

氏名	称号を受けた年月	略歴
岡部長景(故人)	昭和37年(1962)10月	元文部大臣
井阪豊光(故人)	昭和37年(1962)10月	元国会議員、元市長
福本太郎(故人)	昭和38年(1963)3月	元府議会議員、元市長
松本千代(故人)	昭和55年(1980)12月	元国会議員、元衆議院議長
毛利一郎(故人)	昭和58年(1983)3月	元市長
中澤米太郎(故人)	昭和59年(1984)2月	元市長
松浪定雄(故人)	昭和63年(1988)11月	元商工会議所会頭
原 昇(故人)	平成21年(2009)11月	元市長

氏名	賞を受けた年月	略歴
南 芳一	昭和63年(1988)11月	第51期棋聖、第37期王将
清原和博	平成16年(2004)11月	プロ野球・昭和61年新人王、平成16年2000本安打達成



平成18年(2006)、貝塚市と共同運営の岸和田市貝塚市クリーンセンターが開業

時代の流れとともに暮らしやすく安全なまちへ

平成10年(1998)～令和4年(2022)

人口20万人を超え、市政の健全運営やよりよいまちづくりのための政策が多数策定されました。阪神・淡路大震災、東日本大震災、新型コロナ流行などを受け、災害対策や医療体制が強化され、環境問題への取組みも推進。そして令和4年(2022)11月、岸和田市は市制施行100周年を迎えました。



昭和4年(1929)に建築され、平成元年(1989)に取り壊された南海岸和田駅の2代目駅舎

加速する交通インフラ整備とだんじり&文化の発信

昭和48年(1973)～平成9年(1997)

第二阪和国道全線開通、阪和自動車道岸和田和泉・阪南間開通、岸和田サービスエリア開業、阪神高速湾岸線全線開通など、道路交通網が急速に発展。観光客誘致も視野に入れたさまざまなイベントも開催され、資料館などの施設が充実していきます。

西暦	和暦	月	岸和田市のおもなできごと	社会のおもなできごと
2022	令和4年	11月	市制施行100周年を迎える。	成年年齢が18歳に引下げ
2021	令和3年	2月	岸和田市忠岡町消防指令センター運用を開始。	東京2020オリンピック・パラリンピック開催
2020	令和2年	9月10日	新型コロナウイルス感染症流行を受け、だんじり曳行を自粛。	新型コロナウイルス感染症流行
2018	平成30年	2月	永野耕平が市長就任(31・32代)。	大阪北部地震/西日本豪雨
2017	平成29年	7月	岸和田市立新福祉総合センター開館。	熊本地震
2016	平成28年	9月	市立中学校の全校生徒を対象に中学校給食開始。	プレミアムフライデー初実施
2015	平成27年	10月	水面面積が大阪府最大のため池久米田池が「世界かんがい施設遺産」に登録される。	マイナンバー法施行
2013	平成25年	12月	信貴芳則が市長就任(29・30代)。	富士山、世界文化遺産登録
2012	平成24年	5月	岸和田市二の丸広場観光交流センター開館。市制施行90周年。	東京スカイツリーオープン
2011	平成23年	4月	愛彩ランド開業(同年10月に道の駅に)。岸和田競輪場にサイクルピア岸和田BMXコース・クラブハウスを新設、BMX事業を開始。	東日本大震災
2010	平成22年	9月	第1回岸和田ブランド認定。	小惑星探査機はやぶさが地球に帰還
2009	平成21年	11月	上松町に消防庁舎新築移転、本部業務開始。	裁判員制度施行
2008	平成20年	3月	地震ハザードマップ、洪水・土砂災害ハザードマップ作成。	リーマン・ショック
2006	平成18年	11月	岸和田市貝塚市クリーンセンター開業。	神戸空港開港
2005	平成17年	8月	岸和田市自治基本条例施行。	愛知万博開催
2002	平成14年	4月	浪切ホール開館。	日韓サッカーワールドカップ開催
2001	平成13年	6月	一般家庭ごみの一部と粗大ごみ収集を有料化。市制施行80周年。	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開業
2000	平成12年	6月	地域巡回ローパス運行開始。	介護保険制度開始
1998	平成10年	4月	岸和田市立保健センター開業。人口が20万人を超える。	長野冬季オリンピック・パラリンピック開催
1997	平成9年	9月	岸和田市公式ホームページ開設。第52回国民体育大会(なみはや国体)剣道競技開催。	大阪ドーム完成
1996	平成8年	3月	南海岸和田駅周辺連続立体交差事業完了。市立岸和田市民病院、額原町に移転・開院。	O157集団感染多発
1995	平成7年	6月	さしわた自然資料館開館。	阪神・淡路大震災
1994	平成6年	2月	泉州国際市民マラソン(現KIX泉州国際マラソン)第1回大会開催。	関西国際空港開港
1993	平成5年	9月	岸和田だんじり会館開館。	サッカーJリーグ開幕
1992	平成4年	9月	岸和田城改修工事竣工。市制施行70周年。	東海道新幹線「のぞみ」運転開始
1991	平成3年	2月	泉州・千亀利マラソン開催。	バブル経済崩壊が表面化
1990	平成2年	3月	岸和田自動車道岸和田和泉・阪南間開通。岸和田サービスエリア開業。市内全域でごみの分別収集実施。	大阪花博開催
1989	平成元年	4月	南海岸和田駅舎昭和4年建築取り壊し。	平成へ改元/消費税スタート
1988	昭和63年	4月	岸和田城築城400年祭開催。市内58台のだんじりがパレード。	バブル景気の絶頂期
1987	昭和62年	7月	第二セクター方式で株式会社テレビ岸和田設立。	国鉄が分割民営化(JRに)
1986	昭和61年	3月	第55回選抜高校野球に泉州(現近畿大学泉州)高校出場。	東京メトロ丸の内線開業
1985	昭和60年	3月	マドカホール(岸和田市立文化会館)開館。	グリコ・森永事件
1982	昭和57年	11月	市役所別館完成。市制施行60周年。	ホテルニュージャパン火災
1981	昭和56年	3月	牛滝地区と塔原町に上水道給水開始。市内給水率100%となる。	神戸でポートピア81開催
1979	昭和54年	9月	第二阪和国道(国道26号)市内全線が開通。	インバーダーゲーム大流行
1978	昭和53年	5月	岸和田市中央公園で第1回市民フェスティバル開催。	成田空港開港
1975	昭和50年	5月	岸和田市立図書館(本館)オープン。	沖縄海洋博覧会開催
1974	昭和49年	3月	春木競馬場廃止。緑と太陽の丘開園。	プロ野球・長嶋茂雄が現役引退
1973	昭和48年	3月	泉州卸商業団地竣工。原昇が市長就任(19・26代)。	第一次オイルショック